

自民党看護問題対策議員連盟  
会 長 伊吹 文明 様

一般社団法人 日本看護系大学協議会  
代表理事 山本 則子



## 要 望 書

一般社団法人日本看護系大学協議会は大学における看護学教育課程のほとんどが加盟しており、会員校では約 10 万人の看護学生に教育を提供しています。新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) パンデミック下においても多様な教育方法を工夫しておりますが、コロナ禍の影響は当分の間続くことが予測され、次の事項につきましてご尽力賜りますよう要望いたします。

1. COVID-19 による影響下での看護学教育の質の担保に向けた教育環境整備
2. 看護学生・教員のワクチン接種・PCR 検査を可能とするための環境整備
3. 保健師助産師看護師国家試験におけるコンピュータの活用に向けての整備

### 1. COVID-19 による影響下での看護学教育の質の担保に向けた教育環境整備

「新型コロナウイルスに関連する保健師助産師看護師養成学校における臨地実習等の実施状況調査」(文部科学省、令和 2 年 10 月)によりますと、臨地実習の代替を多くの大学で実施し、多様な教材、教具を用いて教育を実施していました。しかし、このような状況は今後も続く可能性が大であるとともに、今後の新たな大規模感染症が生じる可能性を予測した教育環境整備が必要です。看護学生の能力の育成に向けて、シミュレーターの購入やシミュレーションラボの設置等、看護学教育の質を充実させるための環境整備への国家予算による助成を要望します。

感染症医療人材育成に向けて、令和 3 年度 (2021 年度) は 38 大学に感染症医療人材養成拠点形成事業として予算配分されましたが、この予算の活用は医学部を併設する大学に限定されています。感染看護教育を充実するための予算は看護基礎教育機関を対象として配分されるよう要望します。

### 2. 看護学生・教員のワクチン接種・PCR 検査を可能とするための環境整備

本年 2 月 16 日に厚生労働省健康局健康課長通知において COVID-19 ワクチン優先接種の対象に「医学部生等の医療機関に実習を行う者」が追加され、看護学生もこれに含まれております。しかし、医療従事者のワクチン接種すら実施が限られている地域もある中で、看護学生のワクチン接種が進んでいない状況について報告があり、現在、本協議会がその実態を調査中です。附属病院などを持たない大学にも情報が平等に伝達され、ワクチン優先接種が可能となる施策を期待します。また、実習施設が学生に PCR 検査を義務付ける場合は、検査費用への助成を要望します。

### 3. 保健師助産師看護師国家試験におけるコンピュータの活用に向けての整備

近年の災害の多発や新型コロナウイルス感染症の拡大から、いかなる状況にも対応できる国家試験の在り方が危機管理の観点からも求められています。日本が国を挙げてDX（デジタルトランスフォーメーション）に取り組もうとしている今日、従来の保健師助産師看護師国家試験からコンピュータを活用する国家試験へと移行することは必須の課題です。本年3月に提出された医道審議会保健師助産師看護師分科会 保健師助産師看護師国家試験制度改善検討部会報告書におきましても、「近年のICTの進展等を踏まえ、保健師助産師看護師国家試験におけるコンピュータの活用についても積極的に検討を行っていく必要がある。」と記されております。

本年2月の国家試験時には、2月13日深夜に発生した宮城沖地震の発生で、試験会場への移動等で多くの受験生が影響を受けました。また、国家試験が全国の限られた会場でのみ行われているため、会場が遠方になる受験生の場合、前日から試験会場近隣に移動し、宿泊して受験するという不便を強いられ、かつ、交通費・宿泊費の負担も多大となっています。このような課題の解決に向けても、また、感染症のパンデミック時や災害時など、通常の試験の実施が困難となった場合にも、コンピュータを活用した試験は対応が容易になります。コンピュータによる看護師国家試験は米国等では20年以上前から導入されています。

保健師助産師看護師国家試験におけるコンピュータの活用に向けて、法律の改正や各種の整備を要望します。